

女川原子力発電所第2号機 工事計画審査資料	
資料番号	02-変 2-工-F-01-0006 改 1
提出年月日	2023年 5月 18日

設計及び工事計画変更認可申請書

参考資料

2023年 5月

東北電力株式会社

女川原子力発電所第2号機 工事計画の変更認可申請 変更前後比較表
【I 工事計画】

変更前

変更後

備考

2.9 原子炉冷却材浄化設備
2.9.1 原子炉冷却材浄化系
(5) 主配管

変更前				変更後									
名	称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 ^{a1} (mm)	厚さ ^{a2} (mm)	材料	名	称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 ^{a1} (mm)	厚さ ^{a2} (mm)	材料
*	原子炉冷却材浄化系 原子炉冷却材浄化系 原子炉冷却材浄化系 原子炉冷却材浄化系 原子炉冷却材浄化系	8.83 ^{a1}	302	60.5	8.7	STS10 ^{a3}	変更なし						
				60.5	8.7	STS10 ^{a3}							
				60.5	8.7	STS10 ^{a3}							
				60.5	8.7	STS10 ^{a3}							
				60.5	8.7	STS10 ^{a3}							
**	原子炉冷却材浄化系 原子炉冷却材浄化系	8.62 ^{a1}	302	87.1	22.0	SFV2B	変更なし						
				87.1	22.0	SFV2B							
**	原子炉冷却材浄化系 原子炉冷却材浄化系	8.62 ^{a1}	302	216.3	15.1	STS42	変更なし						
				216.3	15.1	STS42							
**	原子炉冷却材浄化系 原子炉冷却材浄化系	8.83 ^{a1}	302	216.3	18.2	STS42	変更なし						
				216.3	18.2	STS42							
**	原子炉冷却材浄化系 原子炉冷却材浄化系	8.83 ^{a1}	302	139.8	12.7	STS42	変更なし						
				139.8	12.7	STS42							
**	原子炉冷却材浄化系 原子炉冷却材浄化系	8.83 ^{a1}	302	139.8	12.7	STS42	変更なし						
				139.8	12.7	STS42							
**	原子炉冷却材浄化系 原子炉冷却材浄化系	8.83 ^{a1}	66	216.3	18.2	STS42	変更なし						
				216.3	18.2	STS42							
**	原子炉冷却材浄化系 原子炉冷却材浄化系	10.20 ^{a1}	66	139.8	12.7	STS42	変更なし						
				139.8	12.7	STS42							
**	原子炉冷却材浄化系 原子炉冷却材浄化系	10.20 ^{a1}	66	216.3	18.2	STS42	変更なし						
				216.3	18.2	STS42							

OR I RO

28
特許の内容は商標権の範囲から保護される。

2.9 原子炉冷却材浄化設備
2.9.1 原子炉冷却材浄化系
(5) 主配管

変更前				変更後									
名	称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 ^{a1} (mm)	厚さ ^{a2} (mm)	材料	名	称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 ^{a1} (mm)	厚さ ^{a2} (mm)	材料
*	原子炉冷却材浄化系 原子炉冷却材浄化系 原子炉冷却材浄化系 原子炉冷却材浄化系 原子炉冷却材浄化系	8.83 ^{a1}	302	60.5	8.7	STS10 ^{a3}	変更なし						
				60.5	8.7	STS10 ^{a3}							
				60.5	8.7	STS10 ^{a3}							
				60.5	8.7	STS10 ^{a3}							
				60.5	8.7	STS10 ^{a3}							
**	原子炉冷却材浄化系 原子炉冷却材浄化系	8.62 ^{a1}	302	87.1	22.0	SFV2B	変更なし						
				87.1	22.0	SFV2B							
**	原子炉冷却材浄化系 原子炉冷却材浄化系	8.62 ^{a1}	302	216.3	15.1	STS42	変更なし						
				216.3	15.1	STS42							
**	原子炉冷却材浄化系 原子炉冷却材浄化系	8.83 ^{a1}	302	216.3	18.2	STS42	変更なし						
				216.3	18.2	STS42							
**	原子炉冷却材浄化系 原子炉冷却材浄化系	8.83 ^{a1}	302	139.8	12.7	STS42	変更なし						
				139.8	12.7	STS42							
**	原子炉冷却材浄化系 原子炉冷却材浄化系	8.83 ^{a1}	302	139.8	12.7	STS42	変更なし						
				139.8	12.7	STS42							
**	原子炉冷却材浄化系 原子炉冷却材浄化系	8.83 ^{a1}	66	216.3	18.2	STS42	変更なし						
				216.3	18.2	STS42							
**	原子炉冷却材浄化系 原子炉冷却材浄化系	10.20 ^{a1}	66	139.8	12.7	STS42	変更なし						
				139.8	12.7	STS42							
**	原子炉冷却材浄化系 原子炉冷却材浄化系	10.20 ^{a1}	66	216.3	18.2	STS42	変更なし						
				216.3	18.2	STS42							

OR I RO

28
特許の内容は商標権の範囲から保護される。

変更なし

変更前

変更前				変更後									
名	称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 ^{*1} (mm)	厚さ ^{*2} (mm)	材 料	名 称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 ^{*1} (mm)	厚 さ ^{*2} (mm)	材 料	
原子炉冷却材浄化系再熱交換器(側面)出口配管分岐点	原子炉隔離時冷却系再熱交換器(側面)出口配管分岐点	8.62 ^{*4}	302	216.3	(18.2)	STS42	変更なし						
				165.2	(14.3)								
原子炉隔離時冷却系再熱交換器(側面)出口配管分岐点	原子炉隔離時冷却系再熱交換器(側面)出口配管分岐点	8.62 ^{*4}	302	165.2	(14.3)	STS10 ^{*5}	変更なし	原子炉冷却材浄化系配管分岐点					変更なし
				165.2	(14.3)								
				165.2	(14.3)								
				165.2	(14.3)								
原子炉隔離時冷却系再熱交換器(側面)出口配管分岐点	原子炉隔離時冷却系再熱交換器(側面)出口配管分岐点	8.62 ^{*4}	302	114.3	(11.1)	STS42	変更なし	原子炉隔離時冷却系再熱交換器(側面)出口配管分岐点					変更なし
				165.2	(14.3)								
				165.2	(14.3)								
				165.2	(14.3)								

注記※1：名称は省略を示す。
 ※2：()内は公称値を示す。
 ※3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉圧力容器から原子炉冷却材浄化系再熱交換器入口配管まで」と記載。
 ※4：S1単位に換算したものである。
 ※5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「STS42」と記載。
 ※6：エルボを示す。既工事計画書にはエルボを含めた管仕様が記載されているため、記載の適正化を行う。
 ※7：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成26年04月19日付け第1003号にて認可された工事計画の添付書類「W-2-1-2-4-1 管の基本原形計算書」による。
 ※8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉中層槽から原子炉冷却材浄化系再熱交換器まで(原子炉冷却材浄化系再熱交換器入口配管)」と記載。
 ※9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉中層槽から原子炉冷却材浄化系再熱交換器及び原子炉隔離時冷却系から復水給水系まで」と記載。
 ※10：非常用中心冷却設備その他原子炉圧力容器(高圧代替注水系)及び原子炉隔離時冷却系(高圧代替注水系)及び原子炉隔離時冷却系(高圧代替注水系)と兼用。(核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の定めによる工事計画の記載)
 ※11：非常用中心冷却設備その他原子炉圧力容器(高圧代替注水系)と兼用。(核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の定めによる工事計画の記載)
 ※12：電気事業法の規定に基づき、本工事計画書において記載するもの。

既計画の図面は記載範囲の範囲から公称値を記載する。

変更後

変更前				変更後									
名	称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 ^{*1} (mm)	厚さ ^{*2} (mm)	材 料	名 称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 ^{*1} (mm)	厚 さ ^{*2} (mm)	材 料	
原子炉冷却材浄化系再熱交換器(側面)出口配管分岐点	原子炉隔離時冷却系再熱交換器(側面)出口配管分岐点	8.62 ^{*4}	302	215.3	(18.2)	STS42	変更なし						
				165.2	(14.3)								
原子炉隔離時冷却系再熱交換器(側面)出口配管分岐点	原子炉隔離時冷却系再熱交換器(側面)出口配管分岐点	8.62 ^{*4}	302	165.2	(14.3)	STS10 ^{*5}	変更なし	原子炉冷却材浄化系配管分岐点					変更なし
				165.2	(14.3)								
				165.2	(14.3)								
				165.2	(14.3)								
原子炉隔離時冷却系再熱交換器(側面)出口配管分岐点	原子炉隔離時冷却系再熱交換器(側面)出口配管分岐点	8.62 ^{*4}	302	114.3	(11.1)	STS42	変更なし	原子炉隔離時冷却系再熱交換器(側面)出口配管分岐点					変更なし
				165.2	(14.3)								
				165.2	(14.3)								
				165.2	(14.3)								

注記※1：名称は省略を示す。
 ※2：()内は公称値を示す。
 ※3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉圧力容器から原子炉冷却材浄化系再熱交換器入口配管まで」と記載。
 ※4：S1単位に換算したものである。
 ※5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「STS42」と記載。
 ※6：エルボを示す。既工事計画書にはエルボを含めた管仕様が記載されているため、記載の適正化を行う。
 ※7：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成26年04月19日付け第1003号にて認可された工事計画の添付書類「W-2-1-2-4-1 管の基本原形計算書」による。
 ※8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉中層槽から原子炉冷却材浄化系再熱交換器まで(原子炉冷却材浄化系再熱交換器入口配管)」と記載。
 ※9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉中層槽から原子炉冷却材浄化系再熱交換器及び原子炉隔離時冷却系から復水給水系まで」と記載。
 ※10：非常用中心冷却設備その他原子炉圧力容器(高圧代替注水系)及び原子炉隔離時冷却系(高圧代替注水系)と兼用。(核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の定めによる工事計画の記載)
 ※11：非常用中心冷却設備その他原子炉圧力容器(高圧代替注水系)と兼用。(核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の定めによる工事計画の記載)
 ※12：電気事業法の規定に基づき、本工事計画書において記載するもの。

既計画の図面は記載範囲の範囲から公称値を記載する。

備考

曲げ管からエルボ材に変更することが要目表に適切に記載されていないことが反映

女川原子力発電所第2号機 工事計画の変更認可申請 変更前後比較表
【I 工事計画】

変 更 前	変 更 後	備 考																																																																
	<div style="text-align: center;"> <p>5. 放射線管理設備 5.2 換気設備 (3) 非常用ガス処理系 又、主要弁 (管設)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">変 更 前^{#1}</th> <th colspan="2">変 更 後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名 称</td> <td>T46-F001A,B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>種 別</td> <td>止め弁</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>呼び径</td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>弁箱厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>弁ふた厚さ</td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>弁材料</td> <td>SC192</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>弁ふた材料</td> <td>SS304^{#3}</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>駆動方法</td> <td>空気自動</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>系 統 名 称 (ク ラ イ ン 名)</td> <td>T46-F001A 非常用ガス処理系A系</td> <td>T46-F001B 非常用ガス処理系B系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>原子炉建屋 0.P.233.20m</td> <td>原子炉建屋 0.P.233.20m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>箇 区 画 番 号</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>湿水防護上の配慮 が必要な高さ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">注：※1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 ※2：核燃料物質、核燃料物質及び原子力の規制に関する法律の規定による工事計画の記載。 ※3：電気事業法の規定に基づき、本工事計画変更認可申請書において自記書きを実施するもの。</p> </div>	変 更 前 ^{#1}		変 更 後		名 称	T46-F001A,B			種 別	止め弁			最高使用圧力	MPa			最高使用温度	℃			呼び径	mm			弁箱厚さ	mm			弁ふた厚さ	mm			弁材料	SC192			弁ふた材料	SS304 ^{#3}			駆動方法	空気自動			個 数	2			系 統 名 称 (ク ラ イ ン 名)	T46-F001A 非常用ガス処理系A系	T46-F001B 非常用ガス処理系B系		設 置 床	原子炉建屋 0.P.233.20m	原子炉建屋 0.P.233.20m		箇 区 画 番 号				湿水防護上の配慮 が必要な高さ				<p style="text-align: center;">新規追加（弁箱厚さを腐食代を考慮した寸法（設計確認値）へ記載を変更、弁ふた厚さ及び弁ふた材料を記載）</p>
変 更 前 ^{#1}		変 更 後																																																																
名 称	T46-F001A,B																																																																	
種 別	止め弁																																																																	
最高使用圧力	MPa																																																																	
最高使用温度	℃																																																																	
呼び径	mm																																																																	
弁箱厚さ	mm																																																																	
弁ふた厚さ	mm																																																																	
弁材料	SC192																																																																	
弁ふた材料	SS304 ^{#3}																																																																	
駆動方法	空気自動																																																																	
個 数	2																																																																	
系 統 名 称 (ク ラ イ ン 名)	T46-F001A 非常用ガス処理系A系	T46-F001B 非常用ガス処理系B系																																																																
設 置 床	原子炉建屋 0.P.233.20m	原子炉建屋 0.P.233.20m																																																																
箇 区 画 番 号																																																																		
湿水防護上の配慮 が必要な高さ																																																																		

特開中の内容は最終版での記載とさせていただきます。

女川原子力発電所第2号機 工事計画の変更認可申請 変更前後比較表
【I 工事計画】

変 更 前		変 更 後		備 考
名	変更前** T16-F003A,B	名	変更後 変更なし	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 特開中の内容は審査結果の欄から公開できません。 </div> <p style="text-align: center;">35</p> <p>新規追加（弁箱厚さを腐食代を考慮した寸法（設計確認値）へ記載を変更、弁ふた厚さ及び弁ふた材料を記載）</p>
種	—	種	—	
類	—	類	—	
最高使用圧力	Mpa 23.5	最高使用圧力	Mpa 23.5	
最高使用温度	℃ 140	最高使用温度	℃ 140	
呼び径	—	呼び径	—	
弁箱厚さ	mm 2003	弁箱厚さ	mm 2003	
弁ふた厚さ	mm 2003	弁ふた厚さ	mm 2003	
材料	—	材料	—	
駆動方法	—	駆動方法	—	
駆動	電気自動	駆動	電気自動	
回数	2	回数	2	
系統名 (フラッシュ名)	T16-F003A 非常用ボイラ処理系A系	系統名 (フラッシュ名)	T16-F003B 非常用ボイラ処理系B系	
設置床	原子炉建屋 0.P.22.50m	設置床	原子炉建屋 0.P.22.50m	
浸水防護上の配慮 区画番号	—	浸水防護上の配慮 区画番号	—	

注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
*2：核燃料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載。
*3：電気事業法の規定に基づき、本工事計画変更認可申請書において手続きを記載するもの。

女川原子力発電所第2号機 工事計画の変更認可申請 変更前後比較表
【I 工事計画】

変更前				変更後			
名	称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 ^{*3} (mm)	厚さ ^{*2} (mm)	材	料
*5	T18-F001 ～ T18-F002出口側合流点	427 ^{*4}	171	609.6	*(9.5)	SH11C	変更なし
				609.6	*(9.5)		
			427.2	*(9.5)			
			609.6	*(9.5)			
			609.6	*(9.5)			
			609.6	*(9.5)			
			609.6	*(9.5)			
			61.1 ^{*7}	*(6.1)	*(9.5)	S25C	
*6	T18-F002出口側合流点 ～ 原子炉格納容器配管貫通部 (X-80)	427 ^{*4}	171	609.6	*(9.5)	SH11C	変更なし
				609.6	*(9.5)		
			171	609.6	*(9.5)	SH11C	
			104	609.6	*(9.5)	SH11C	
			427 ^{*4}	609.6	*(9.5)	SH11C	
			609.6	*(9.5)			
			609.6	*(9.5)			
			609.6	*(9.5)			
			61.1 ^{*7}	*(6.1)	*(9.5)	S25C	
*12	原子炉建屋内 ～ サブレッションチェンバ入口 配管合流点1	427 ^{*4}	104	609.6	*(9.5)	SH11C	変更なし
				609.6	*(9.5)		
			104	609.6	*(9.5)	SH11C	
			427 ^{*4}	609.6	*(9.5)	SH11C	
			609.6	*(9.5)			
			609.6	*(9.5)			
			61.1 ^{*7}	*(6.1)	*(9.5)	S25C	
*12	原子炉建屋内 ～ サブレッションチェンバ入口 配管合流点2	427 ^{*4}	104	609.6	*(9.5)	SH11C	変更なし
				609.6	*(9.5)		
			104	609.6	*(9.5)	SH11C	
			427 ^{*4}	609.6	*(9.5)	SH11C	
			609.6	*(9.5)			
			609.6	*(9.5)			
			61.1 ^{*7}	*(6.1)	*(9.5)	S25C	

原
子
力
機
関
部
O
S
課

内容中の内容は諸君の機密に属する公認できません。
47

変更前				変更後			
名	称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 ^{*3} (mm)	厚さ ^{*2} (mm)	材	料
*3	T18-F001 ～ T18-F002出口側合流点	427 ^{*4}	171	609.6	*(9.5)	SH11C	変更なし
				609.6	*(9.5)		
			427.2	*(9.5)			
			609.6	*(9.5)			
			609.6	*(9.5)			
			609.6	*(9.5)			
			609.6	*(9.5)			
			61.1 ^{*7}	*(6.1)	*(9.5)	S25C	
*6	T18-F002出口側合流点 ～ 原子炉格納容器配管貫通部 (X-80)	427 ^{*4}	171	609.6	*(9.5)	SH11C	変更なし
				609.6	*(9.5)		
			171	609.6	*(9.5)	SH11C	
			104	609.6	*(9.5)	SH11C	
			427 ^{*4}	609.6	*(9.5)	SH11C	
			609.6	*(9.5)			
			609.6	*(9.5)			
			609.6	*(9.5)			
			61.1 ^{*7}	*(6.1)	*(9.5)	S25C	
*12	原子炉建屋内 ～ サブレッションチェンバ入口 配管合流点1	427 ^{*4}	104	609.6	*(9.5)	SH11C	変更なし
				609.6	*(9.5)		
			104	609.6	*(9.5)	SH11C	
			427 ^{*4}	609.6	*(9.5)	SH11C	
			609.6	*(9.5)			
			609.6	*(9.5)			
			61.1 ^{*7}	*(6.1)	*(9.5)	S25C	
*12	原子炉建屋内 ～ サブレッションチェンバ入口 配管合流点2	427 ^{*4}	104	609.6	*(9.5)	SH11C	変更なし
				609.6	*(9.5)		
			104	609.6	*(9.5)	SH11C	
			427 ^{*4}	609.6	*(9.5)	SH11C	
			609.6	*(9.5)			
			609.6	*(9.5)			
			61.1 ^{*7}	*(6.1)	*(9.5)	S25C	

原
子
力
機
関
部
O
S
課

内容中の内容は諸君の機密に属する公認できません。
47

変更なし

女川原子力発電所第2号機 工事計画の変更認可申請 変更前後比較表
【I 工事計画】

変更前

変更前				変更後			
名	称	最高使用 圧 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 ^{*1} (mm)	厚さ ^{*2} (mm)	材	料
*13 T18-F016 ～ ドライウエル入口配管合流点		427 ^{*4}	171	457.2	457.2	SM100C	変更なし
				60.5	60.5	STS12	
*15 T18-F010 ～ T18-F011入口側合流点		427 ^{*4}	171	61.1 ^{*7}	61.1 ^{*7}	S25C	変更なし
				60.5	60.5	STS12	
原子力 格納 容器 監視 調整 系統	T18-F011入口側合流点 ～ T18-F002出口側合流点	427 ^{*4}	171	60.5	60.5	STS12	変更なし
				61.1	61.1	S25C	
*16 原子力格納容器配管直通部 ～ ドライウエル入口側合流点		427 ^{*4}	171	60.5	60.5	STS12	変更なし
				61.1	61.1	S25C	
*17 原子力格納容器配管直通部 (X-81) ～ ドライウエル出口配管分岐点		427 ^{*4}	171	609.6	609.6	SM100C	変更なし
				609.5	609.5	SM100C	
*18 原子力格納容器配管直通部 ～ ドライウエル出口配管分岐点		427 ^{*4}	171	609.6	609.6	SM100C	変更なし
				609.5	609.5	SM100C	

原子力格納容器配管直通部の厚さから公称できまらぬ。

OR
I R O

変更後

変更前				変更後			
名	称	最高使用 圧 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 ^{*1} (mm)	厚さ ^{*2} (mm)	材	料
*13 T18-F016 ～ ドライウエル入口配管合流点		427 ^{*4}	171	457.2	457.2	SM100C	変更なし
				60.5	60.5	STS12	
*15 T18-F010 ～ T18-F011入口側合流点		427 ^{*4}	171	61.1 ^{*7}	61.1 ^{*7}	S25C	変更なし
				60.5	60.5	STS12	
原子力 格納 容器 監視 調整 系統	T18-F011入口側合流点 ～ T18-F002出口側合流点	427 ^{*4}	171	60.5	60.5	STS12	変更なし
				61.1	61.1	S25C	
*16 原子力格納容器配管直通部 ～ ドライウエル入口側合流点		427 ^{*4}	171	609.6	609.6	SM100C	変更なし
				609.5	609.5	SM100C	
*17 原子力格納容器配管直通部 ～ ドライウエル出口配管分岐点		427 ^{*4}	171	609.6	609.6	SM100C	変更なし
				609.5	609.5	SM100C	

原子力格納容器配管直通部の厚さから公称できまらぬ。

OR
I R O

変更なし

備考

女川原子力発電所第2号機 工事計画の変更認可申請 変更前後比較表
【I 工事計画】

変更前				変更後			
名	称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 ^{*1} (mm)	厚さ ^{*2} (mm)	材	料
*11 ドライウェル出口配管分岐点 ～ T18-F046		427 **	171	609.6	9.5	SH400C	変更なし
		427 **	104	609.6	9.5	SH11C	
*19 原子炉格納容器配管貫通部 ～ ドライウェル出口配管分岐点		427 **	171	609.6	17.3	SH400C	変更なし 変更なし 変更なし 変更なし 変更なし
					9.5	SH11C	
					9.5	SH11C	
					9.5	SH400C	
					9.5	SH400C	
*20 オフロッキングチェンバ出口配管分岐点 ～ T18-F045		427 **	171	318.5	10.3	SH400C	変更なし
					10.3	STS110	
					10.3	STS110	

原子炉格納容器配管貫通部
～
ドライウェル出口配管分岐点

原子炉格納容器配管貫通部
～
ドライウェル出口配管分岐点

内容中の内容は正確な記載から公認できません。
19

変更前				変更後			
名	称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 ^{*1} (mm)	厚さ ^{*2} (mm)	材	料
*11 ドライウェル出口配管分岐点 ～ T18-F046		427 **	171	609.6	9.5	SH400C	変更なし
		427 **	104	609.6	9.5	SH11C	
*19 原子炉格納容器配管貫通部 ～ ドライウェル出口配管分岐点		427 **	171	609.6	17.3	SH400C	変更なし 変更なし 変更なし 変更なし 変更なし
					9.5	SH11C	
					9.5	SH11C	
					9.5	SH400C	
					9.5	SH400C	
*20 オフロッキングチェンバ出口配管分岐点 ～ T18-F045		427 **	171	318.5	10.3	SH400C	変更なし
					10.3	STS110	
					10.3	STS110	

原子炉格納容器配管貫通部
～
ドライウェル出口配管分岐点

原子炉格納容器配管貫通部
～
ドライウェル出口配管分岐点

内容中の内容は正確な記載から公認できません。
19

耐震性強化のため原子炉格納容器調気系の既設配管の一部を厚肉化することを反映
JIS規格管継手の記載をJIS規格外管継手に変更

【 I 工事計画】

変 更 前	変 更 後	備 考
<p>注記※1：外図は公称値を示す。 ※2：()内は公称値を示す。 ※3：S1単位に換算したものである。 ※4：S1単位に換算したものである。 ※5：S1単位に換算したものである。 ※6：S1単位に換算したものである。 ※7：S1単位に換算したものである。 ※8：S1単位に換算したものである。 ※9：S1単位に換算したものである。 ※10：S1単位に換算したものである。 ※11：S1単位に換算したものである。 ※12：S1単位に換算したものである。 ※13：S1単位に換算したものである。 ※14：S1単位に換算したものである。 ※15：S1単位に換算したものである。 ※16：S1単位に換算したものである。 ※17：S1単位に換算したものである。 ※18：S1単位に換算したものである。 ※19：S1単位に換算したものである。 ※20：S1単位に換算したものである。 ※21：S1単位に換算したものである。 ※22：S1単位に換算したものである。 ※23：S1単位に換算したものである。 ※24：S1単位に換算したものである。 ※25：S1単位に換算したものである。 ※26：S1単位に換算したものである。 ※27：S1単位に換算したものである。</p>	<p>注記※1：外図は公称値を示す。 ※2：()内は公称値を示す。 ※3：S1単位に換算したものである。 ※4：S1単位に換算したものである。 ※5：S1単位に換算したものである。 ※6：S1単位に換算したものである。 ※7：S1単位に換算したものである。 ※8：S1単位に換算したものである。 ※9：S1単位に換算したものである。 ※10：S1単位に換算したものである。 ※11：S1単位に換算したものである。 ※12：S1単位に換算したものである。 ※13：S1単位に換算したものである。 ※14：S1単位に換算したものである。 ※15：S1単位に換算したものである。 ※16：S1単位に換算したものである。 ※17：S1単位に換算したものである。 ※18：S1単位に換算したものである。 ※19：S1単位に換算したものである。 ※20：S1単位に換算したものである。 ※21：S1単位に換算したものである。 ※22：S1単位に換算したものである。 ※23：S1単位に換算したものである。 ※24：S1単位に換算したものである。 ※25：S1単位に換算したものである。 ※26：S1単位に換算したものである。 ※27：S1単位に換算したものである。</p>	<p>81</p> <p>耐震性強化のため原子炉格納容器調気系の既設配管の一部を厚肉化することを反映</p> <p>JIS規格管継手の記載を JIS 規格外管継手に変更</p>